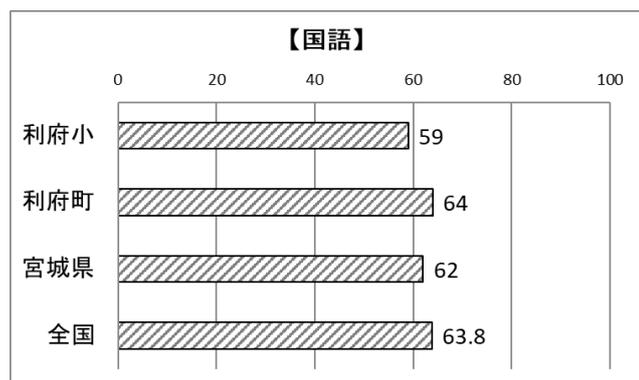


令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果とこれからの取組

今年の4月18日（木）に、全国の公立小学校に通う6年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が各校に8月下旬に届きました。これに基づいて、この度、本校の児童の学習や生活の状況について、よさや課題についてまとめましたので、お知らせいたします。なお、個人票もあわせてお渡しいたしますのでお読みいただき、お子さまのこれからの学習と生活の改善に役立てていただきますようお願い申し上げます。

1 学力調査の結果

【国語】 平均正答率%

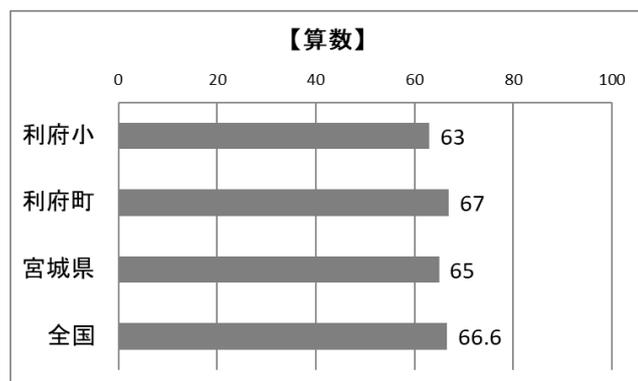


・国語については、全国の平均正答率を4.8ポイント下回っていました。
・「話すこと・聞くこと」の項目では、全国の平均正答率を3.1ポイント上回りました。一方で、「書くこと」では、5.0ポイント、「読むこと」では4.5ポイント下回り、課題があることが分かりました。

具体的な学習状況 (◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点)

- ◎調べたいことを調べるために、選んだ本のどこを探せばいいのかを適切に選ぶことができ、目的に応じた効果的な読み方をする事ができています。
- ◎話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめて書く事ができています。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして書く問題に課題が見られました。
- 漢字を文の中で正しく使うこと（『対象』『限らず』『関心』）の問題の正答率が低くなっていました。

【算数】 平均正答率%



・算数については、全国の平均正答率を3.6ポイント下回りました。
・領域等の平均正答率では、全国比を下回ったものの、「図形」の項目は、1.0ポイント下回るとどまっています。一方、「量と測定」の項目では、8.8ポイント下回っており、全国との大きな開きがあります。

具体的な学習状況 (◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点)

- ◎図形の性質や構成要素に着目して、基本的な平面図形（ここでは台形）についての問題の正答率が高くなっていました。
- ◎加法と乗法の混同した整数と小数の計算についての問題の正答率が高くなっていました。
- グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、課題に対する考えを記述する問題に課題が見られました。
- 示された場面の状況から、単位量当たりの大きさを基にして、求め方と答えを記述する問題に課題がみられました。

2 今後の取組について

(1) 国語

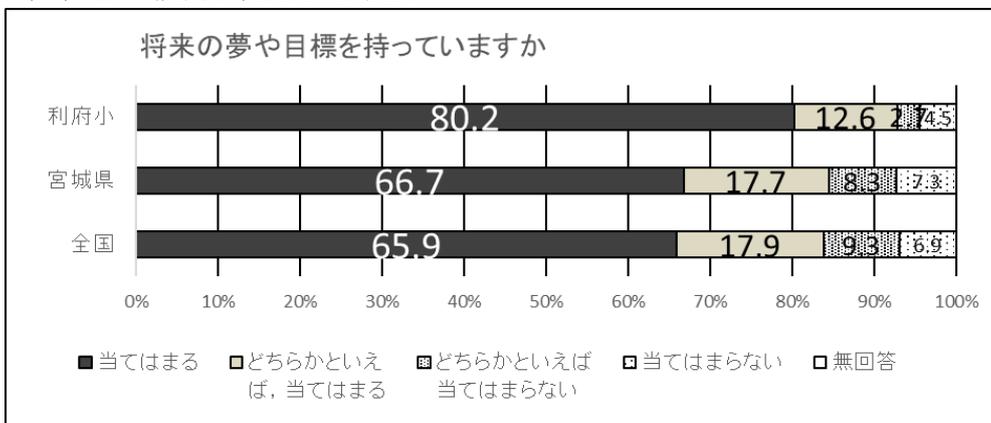
- 国語科をはじめ、各教科で「読むこと」「自分の考え書くこと」「自分の思いを話すこと」を大切に指導を進めていきます。
- 漢字の読み書きの更なる習熟を図り、特に漢字は文脈の中で使えるように、日頃から練習を積み重ねていきます。
- 時数制限やキーワードの使用などの条件を与え、それに合わせて書く力を高めていきます。

(2) 算数

- 課題を明確に提示し、何について考え学んでいるのかを意識させる授業づくりをしていきます。
- 算数の学習時間はもちろん、朝のスキルタイムや宿題プリントなどを通し、基礎的な計算力や算数的用語の習得を図ります。
- 学習時間に意図的に書く場面や、ペアやグループで話したり、聞いたりする場面を設定し、筋道を立てて考え、相手に説明する力を向上させていきます。

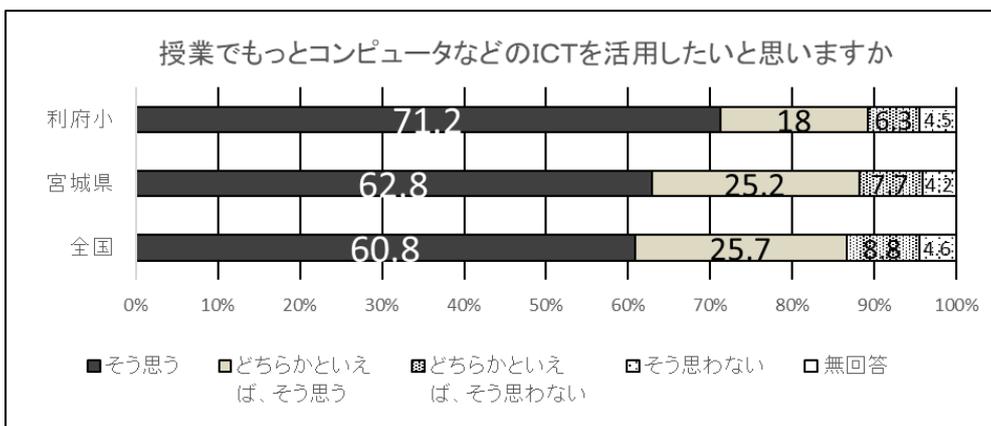
3 学習状況調査の結果

(1) よい傾向が見られる項目



将来の夢や目標をもって回答している児童が約90%います。利府小の児童は、毎日を前向きに考え、未来に希望を持って生活していることが伺えます。

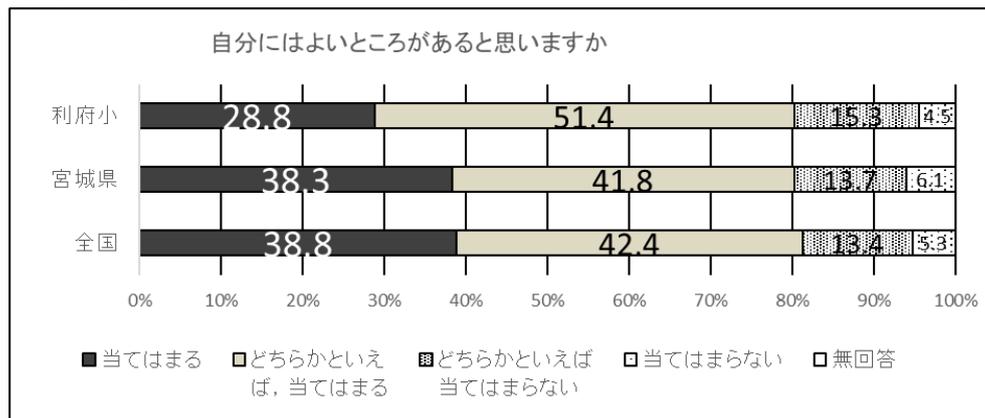
引き続き、児童の興味や好奇心を大事にした指導に心掛けてまいります。



授業でICTを活用したいと回答している児童が約90%います。課題への興味関心を高めたり、学習内容をわかりやすく説明したりするために活用しているところです。

今後も、よりよい指導の効果が上がる指導法を考え実践してまいります。

(2) 改善が必要と思われる項目



各個人よさをもっているにも関わらず、自信がないと感じている児童が多いです。

今後も引き続き、良いところを認める場面を増やし、認められることで、自信とやる気を高めていきたいと考えています。